

# 2017年12月期 第2四半期 決算説明会

**片倉工業株式会社**

(コード:3001 東証第1部)

2017年8月21日

## 1. 2017年12月期 第2四半期 決算概要

連結損益計算書

連結損益計算書／セグメント別業績

連結貸借対照表

連結キャッシュフロー計算書

## 2. 2017年12月期 通期業績予想

連結損益計算書／通期予想

連結損益計算書／セグメント別業績予想

設備投資額・減価償却費・研究開発費予想

## 3. 中期経営計画「カタクラ2021」進捗状況

## 4. 株主還元について

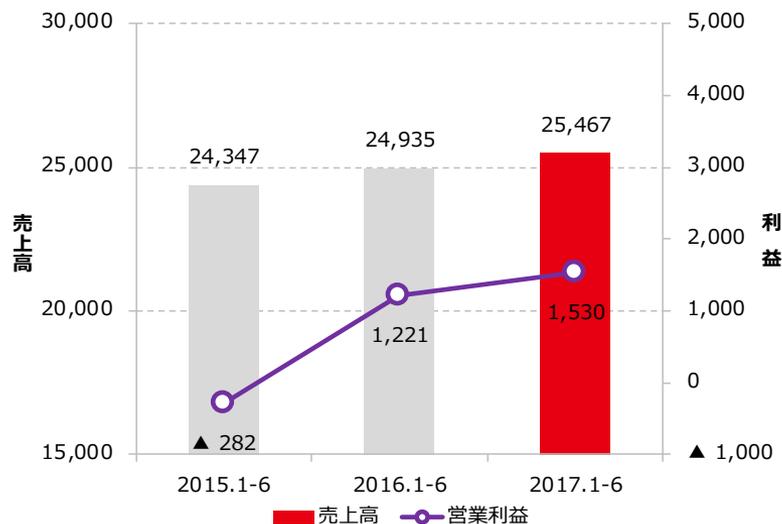
# 1. 2017年12月期 第2四半期 決算概要

機械関連で増収、医薬品・不動産で増益。予想比では減収も、費用の期ずれもあり増益

(金額単位：百万円)

	2017.1-6実績	2016.1-6実績	前期増減	前期増減率	2017.1-6予想	予想との差異
	A	B	A-B	A/B	C	A-C
売上高	<b>25,467</b>	24,935	532	102%	25,800	▲ 333
営業利益	<b>1,530</b>	1,221	309	125%	1,200	330
営業利益率	<b>6.0%</b>	4.9%	1.1pt	123%	4.7%	1.4pt
経常利益	<b>1,956</b>	1,553	403	126%	1,500	456
親会社株主に帰属する 四半期純利益	<b>916</b>	1,457	▲ 541	63%	700	216

## 過去3年間の業績推移



【売上高】

- ・機械関連 + 10億円
- ・医薬品 ▲ 3億円
- ・繊維 ▲ 2億円

【営業利益】

- ・医薬品 + 3億円
- ・不動産 + 2億円
- ・調整額 ▲ 2億円

【親会社株主に帰属する四半期純利益】

- ・前期に投資有価証券の売却益(10億円)があったため減益

【売上高】

- ・繊維 ▲ 1億円
- ・機械関連 ▲ 1億円
- ・その他 ▲ 1億円

【営業利益】

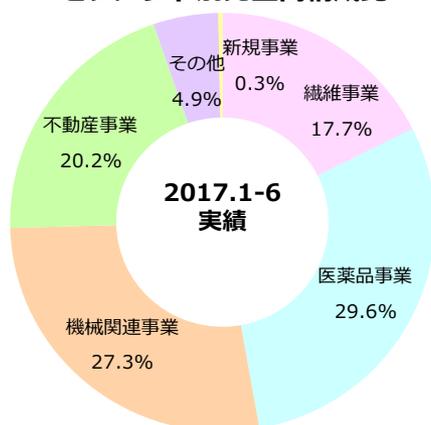
- ・医薬品 + 4億円

# 連結損益計算書／セグメント別実績

(金額単位：百万円)

	2017.1-6実績		2016.1-6実績		前期増減		2017.1-6予想		予想との差異	
	A		B		A-B		C		A-C	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
繊維事業	4,495	▲ 57	4,738	▲ 24	③ ▲ 243	▲ 33	4,600	▲ 100	▲ 105	43
医薬品事業	7,530	513	7,858	223	② ▲ 328	290	7,500	100	① 30	413
機械関連事業	6,960	208	5,945	184	① 1,015	24	7,100	350	▲ 140	▲ 142
不動産事業	5,141	1,778	5,037	1,626	104	152	5,100	1,600	② 41	178
その他	1,260	23	1,302	19	▲ 42	4	1,400	50	▲ 140	▲ 27
新規事業	79	▲ 172	54	▲ 236	25	64	100	▲ 150	▲ 21	▲ 22
調整額	-	▲ 764	-	▲ 571	-	※ ▲ 193	-	▲ 650	-	※ ▲ 114
合計	25,467	1,530	24,935	1,221	532	309	25,800	1,200	▲ 333	330

セグメント別売上高構成比


**①：機械関連で大幅増収**

- 大型ポンプ車、化学車等の受注増により増収も、外注費等の製造コストがかさみ微増益

**②：医薬品で減収も増益**

- 主力のフランドルテープを中心に長期収載品の減少等により減収
- 研究開発費、減価償却費等の減少で増益

**③：繊維で減収減益**

- 機能性繊維の好調も、カジュアルインナーの販売不振により減収減益

**①：医薬品で増益**

- 研究開発費等の下期への期ずれにより増益

**②：不動産で増益**

- 修繕費等の下期への期ずれにより増益

**※：調整額で減益**

- 退職給付費用の増加による

# 連結貸借対照表

(金額単位：百万円)

	2017.6	2016.12	前期増減
	A	B	A-B
流動資産	51,941	54,228	▲ 2,287
固定資産	87,986	90,430	▲ 2,444
有形固定資産	50,769	51,509	▲ 740
無形固定資産	1,208	1,350	▲ 142
投資その他の資産	36,008	37,570	▲ 1,562
投資有価証券	33,173	34,635	▲ 1,462
資産合計	139,928	144,659	▲ 4,731
負債合計	61,233	65,752	▲ 4,519
借入金	19,012	19,649	▲ 637
預り敷金保証金	9,823	9,810	13
繰延税金負債	9,953	10,294	▲ 341
純資産合計	78,694	78,906	▲ 212
その他有価証券評価差額金	16,049	16,349	▲ 300
非支配株主持分	22,818	23,337	▲ 519
負債・純資産合計	139,928	144,659	▲ 4,731

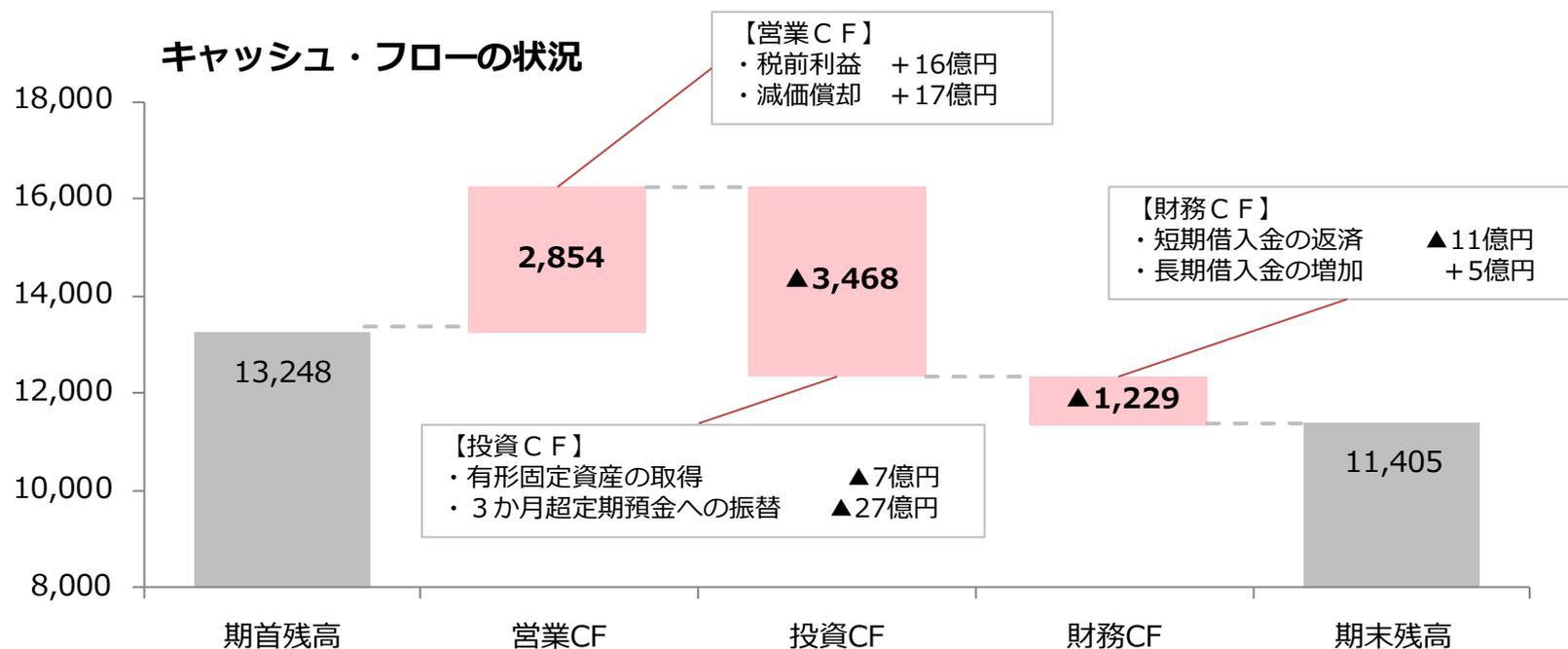
・消防自動車等の出荷による棚卸資産の減

・投資有価証券の時価評価差額

# 連結キャッシュフロー計算書

(金額単位：百万円)

	2017.1-6実績	2016.1-6実績
現金及び現金同等物の期首残高	<b>13,248</b>	9,256
営業活動によるキャッシュ・フロー	<b>2,854</b>	4,521
投資活動によるキャッシュ・フロー	<b>▲ 3,468</b>	▲ 2,421
財務活動によるキャッシュ・フロー	<b>▲ 1,229</b>	▲ 4,634
現金及び現金同等物の増減額	<b>▲ 1,843</b>	▲ 2,534
現金及び現金同等物の期末残高	<b>11,405</b>	6,722





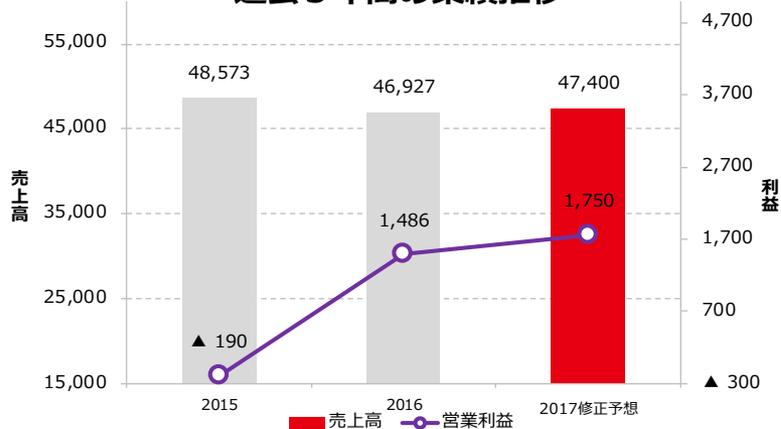
## 2. 2017年12月期 通期業績予想

前期比では増収・営業利益増益。当初予想比では、不動産が好調も減収・減益の見通し

(金額単位：百万円)

	2017修正予想	2016実績	前期増減	前期増減率	2017期初予想	差異
	A	B	A-B	A/C	C	A-C
売上高	<b>47,400</b>	46,927	473	101%	48,000	▲ 600
営業利益	<b>1,750</b>	1,486	264	118%	2,000	▲ 250
営業利益率	<b>3.7%</b>	3.2%	0.5pt	117%	4.2%	▲ 0.5pt
経常利益	<b>2,500</b>	2,152	348	116%	2,500	0
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>1,200</b>	1,691	▲ 491	71%	1,300	▲ 100

過去3年間の業績推移



【売上高】

- ・機械関連 + 9 億円
- ・医薬品 ▲ 4 億円

【営業利益】

- ・不動産 + 2 億円
- ・新規 + 2 億円
- ・繊維 + 2 億円
- ・調整額 ▲ 4 億円

【親会社株主に帰属する当期純利益】

- ・前期に投資有価証券売却益(12億円)があったため減益

【売上高】

- ・医薬品 ▲ 3 億円
- ・その他 ▲ 2 億円

【営業利益】

- ・調整額 ▲ 3 億円

【経常利益】

- ・雑収入の増加等により予想どおり

【親会社株主に帰属する当期純利益】

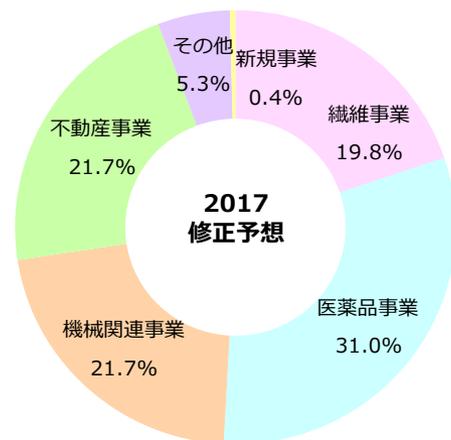
- ・固定資産処分損の発生等により減益

# 連結損益計算書／セグメント別予想

(金額単位：百万円)

	2017修正予想		2016実績		前期増減		2017期初予想		差異	
	A		B		A-B		C		A-C	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
繊維事業	9,400	▲ 100	9,635	▲ 250	③ ▲ 235	150	9,500	▲ 100	▲ 100	0
医薬品事業	14,700	300	15,065	199	② ▲ 365	101	15,000	300	① ▲ 300	0
機械関連事業	10,300	50	9,412	88	① 888	▲ 38	10,300	150	0	▲ 100
不動産事業	10,300	3,400	10,188	3,176	112	224	10,200	3,200	② 100	200
その他	2,500	0	2,502	▲ 27	▲ 2	27	2,700	100	▲ 200	▲ 100
新規事業	200	▲ 300	124	▲ 484	76	184	300	▲ 300	▲ 100	0
調整額	-	▲ 1,600	-	▲ 1,216	-	※ ▲ 384	-	▲ 1,350	-	※ ▲ 250
合計	47,400	1,750	46,927	1,486	473	264	48,000	2,000	▲ 600	▲ 250

## セグメント別売上高構成比



- ①：機械関連で大幅増収も減益  
 ・大型ポンプ車、化学車等の受注増により増収も、外注費等の製造コストがかさみ減益
- ②：医薬品で減収も増益  
 ・長期収載品の減少等により減収  
 ・研究開発費、減価償却費等の減少で増益
- ③：繊維で減収も好転  
 ・カジュアルインナーの販売不振により減収も、機能性繊維の好調により好転

- ①：医薬品で減収も利益予想どおり  
 ・長期収載品の減少等により減収も、研究開発費等の減少もあり当初予想どおりの利益を見込む

- ②：不動産で増収増益  
 ・修繕費の減少等により増益を見込む

- ※：調整額で減益  
 ・退職給付費用の増加による

# 設備投資額・減価償却費・研究開発費予想

(金額単位：百万円)

		2017修正予想	2016実績	前期増減	2017期初予想	差異
		A	B	A-B	C	A-C
不動産事業		810	1,048	▲ 238	860	▲ 50
その他のセグメント		1,320	2,087	① ▲ 767	1,310	10
設備投資額		2,130	3,135	▲ 1,005	2,170	▲ 40

①：医薬品事業で前期に製品の製造販売権の承継があったこと等による

医薬品事業		1,100	1,345	▲ 245	1,100	0
不動産事業		1,890	2,086	▲ 196	1,900	▲ 10
その他のセグメント		500	682	▲ 182	520	▲ 20
減価償却費		3,490	4,113	▲ 623	3,520	▲ 30

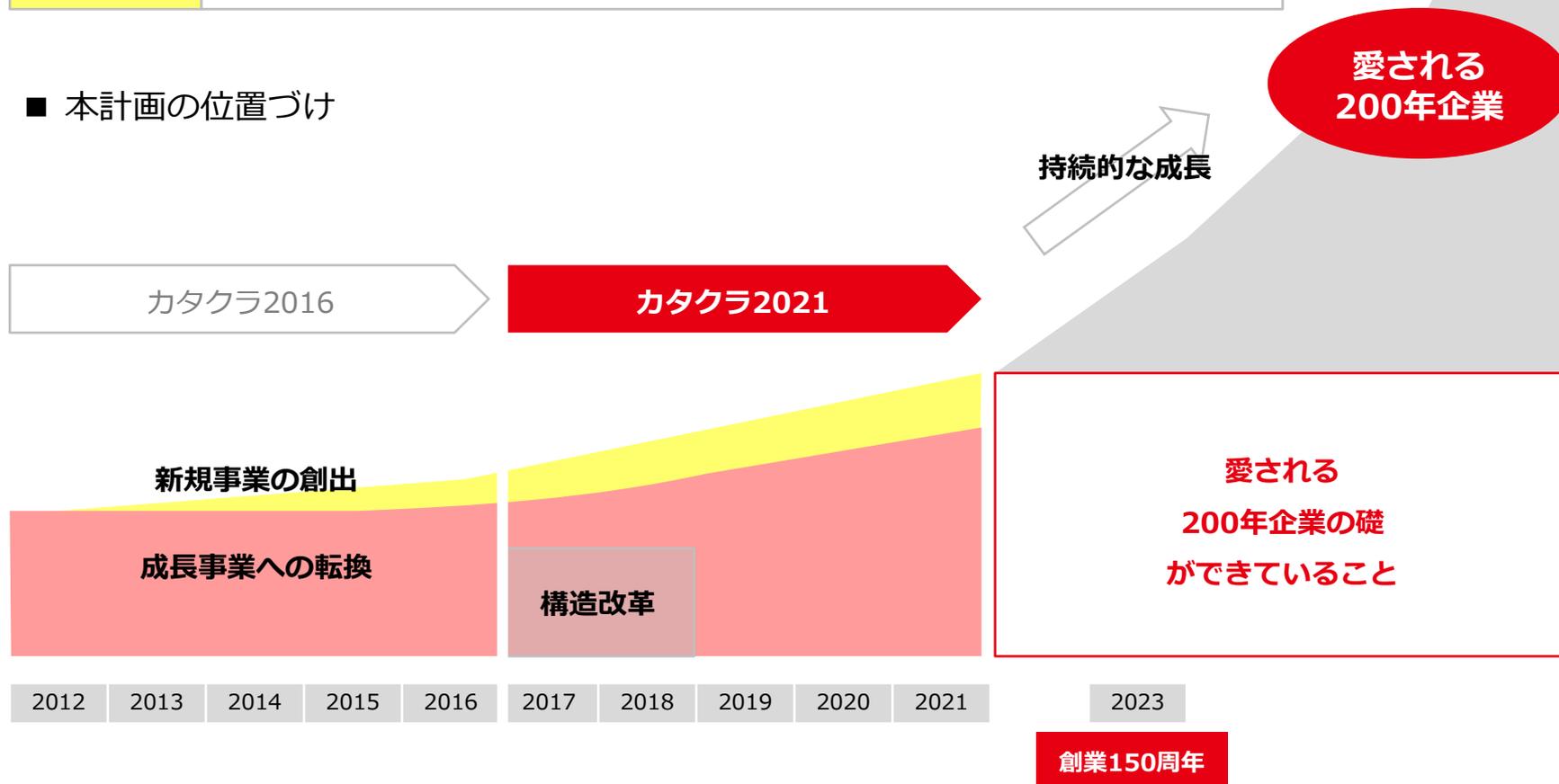
医薬品事業		2,100	2,285	▲ 185	2,210	▲ 110
その他のセグメント		430	282	148	390	40
研究開発費		2,530	2,567	▲ 37	2,600	▲ 70

### 3. 中期経営計画「カタクラ2021」進捗状況

# (1) 基本戦略

<b>成長事業 への転換</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>多様化する顧客ニーズに対応し、<b>特定領域でのNo.1</b>を目指す</li><li><b>既存事業のビジネスモデルを見直し</b>、成長事業へシフトすることで、収益基盤を強化する</li><li><b>新興市場の開拓</b>を推進する</li></ul>
<b>新規事業 の創出</b>	<ul style="list-style-type: none"><li><b>多角化した事業のシナジー</b>を効かせ、新規事業を創出する</li><li>人々の潜在ニーズに応え、<b>独創的な製品やサービスを提供</b>することで、成長事業を創出する</li><li>長期的な展望のもとでカタクラグループの<b>新たな柱となる事業を創出</b>する</li></ul>

## ■ 本計画の位置づけ



## (2) 数値計画 セグメント別売上高・営業利益等

前中計

**カタクラ2021**

売上高

(金額単位：百万円)

	2016	2017	2021
	実績	予想	中計
繊維事業	9,635	9,400	<b>11,500</b>
医薬品事業	15,065	14,700	<b>15,200</b>
機械関連事業	9,412	10,300	<b>13,000</b>
不動産事業	10,188	10,300	<b>10,800</b>
その他	2,502	2,500	<b>4,100</b>
新規事業	124	200	<b>2,000</b>
	46,927	47,400	<b>56,600</b>

営業利益

(金額単位：百万円)

	2016	2017	2021
	実績	予想	中計
繊維事業	▲ 250	▲ 100	<b>500</b>
医薬品事業	199	300	<b>1,200</b>
機械関連事業	88	50	<b>400</b>
不動産事業	3,176	3,400	<b>4,000</b>
その他	▲ 27	0	<b>200</b>
新規事業	▲ 484	▲ 300	<b>100</b>
調整額	▲ 1,216	▲ 1,600	<b>▲ 1,200</b>
	1,486	1,750	<b>5,200</b>

&lt; 5年間の設備投資等 &gt;

(金額単位：百万円)

		2017~2021年 計画
不動産事業		<b>18,000</b>
その他のセグメント		<b>7,000</b>
設備投資額		<b>25,000</b>

不動産事業		<b>8,500</b>
医薬品事業		<b>4,500</b>
その他のセグメント		<b>3,000</b>
減価償却費		<b>16,000</b>

医薬品事業		<b>10,000</b>
その他のセグメント		<b>2,000</b>
研究開発費		<b>12,000</b>

## (2) 数値計画 新中期経営計画を支える事業基盤

①

不採算事業については、2018年度中を目途に、ビジネスの縮小・撤退も視野に入れながら構造改革を完了させる

②

継続的に成長している事業については、事業領域を拡大させ、更なる成長を目指す

③

重点戦略分野では、各事業セグメントの経営資源を持ち寄り、他社との業務提携やM & Aを積極的に活用しながら、グループの新たな柱となる事業の創出を目指す

介護福祉・健康分野

防災・安全分野

アグリ・環境分野

高付加価値素材分野

さいたま新都心エリアでの新事業分野

### (3) セグメント別進捗 繊維事業

#### ■ 数値計画

(金額単位：百万円)

	2016	2017	2021	進捗率
	実績	予想	中計	
売上高	9,635	9,400	11,500	82%
実用衣料	7,831	7,500	9,500	79%
機能性繊維	1,804	1,900	2,000	95%
営業利益	▲ 250	▲ 100	500	-
営業利益率	-	-	4.3%	-



ケアコットン

ニチビアルフ®



#### ■ 具体的な戦略と進捗

##### <実用衣料>

- 具体的な戦略
- 天然素材を基軸にした新NBの展開
  - 機能再構築による競争力の強化

##### <機能性繊維>

- 具体的な戦略
- 新たな高機能素材の開発と耐熱性繊維の用途開発

##### 進捗状況

- **新NB 高付加価値素材分野**
  - ・シルクにこだわった「Katakura Silk」ブランドを発売
  - ・肌ケアの新ベーシック商品「ケアコットン」の拡販
- **構造改革**
  - ・低採算商品の絞り込み
  - ・物流費の見直し
  - ・実用衣料3社共通システムの稼働

##### 進捗状況

- **アルミナ長繊維の新品種開発に取り組み**
- **高付加価値素材分野**
- **製造工場のグランドデザイン検討開始**

## 新ブランド「Katakura Silk」新発売、全国百貨店でポップアップ販売



### ■ Premium ライン発売 (3月27日)



Katakura Silk®  
Since 1873

和・輪・環。繋がる日本の伝統。

富岡製糸場の  
機械糸巻き 繭

生糸 桑の葉 桑の実



### (3) セグメント別進捗 医薬品事業

#### ■ 数値計画

(金額単位：百万円)

	2016	2017	2021	進捗率
	実績	予想	中計	
売上高	15,065	14,700	15,200	97%
営業利益	199	300	1,200	25%
営業利益率	1.3%	2.0%	7.9%	-
研究開発費	2,285	2,100	10,000 (5年間)	



不整脈治療剤「シベノール」ほか

#### ■ 具体的な戦略と進捗

具体的な戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 周辺領域である腎・透析領域等への参入</li> <li>➤ 後発品事業への注力</li> <li>➤ ライセンス展開による新薬の研究開発効率化</li> <li>➤ 承継及びコ・プロモーション（販売提携）の強化</li> </ul>
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ビソノテープの売上高伸長への取り組み                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性心房細動適応追加、製剤改良（2018年承認申請予定）</li> </ul> </li> <li>■ 後発品を中心に品ぞろえの拡充                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・循環器領域、腎・透析領域で3品目の承認申請中</li> <li>・来期以降も複数品目の申請に向け進行中</li> </ul> </li> <li>■ 領域戦略・製品戦略の転換に対応するため、組織体制を見直し</li> </ul>



高血圧治療剤「ビソノテープ」  
(2013年9月発売)

### (3) セグメント別進捗 機械関連事業

#### ■ 数値計画

(金額単位：百万円)

	2016	2017	2021	進捗率
	実績	予想	中計	
売上高	9,412	10,300	13,000	79%
営業利益	88	50	400	13%
営業利益率	0.9%	0.5%	3.1%	-



大容量水中ポンプシステム  
Vowcan (ボーキャン)



「第66回利根川水系連合  
・総合水防演習」へ出展

#### ■ 具体的な戦略と進捗

具体的 な戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 消防自動車の性能向上と周辺分野の拡大</li> <li>➢ Vowcanシリーズの拡充と防災分野への参入</li> <li>➢ 艀装技術を基にした特装車両開発</li> <li>➢ アジアを中心とした海外マーケットへの進出</li> </ul>
------------	---

進捗 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業領域の拡大 <span style="background-color: red; color: white; padding: 2px;">防災・安全分野</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電力会社向けメンテナンスのための新会社設立（4月）</li> </ul> </li> <li>■ 周辺分野の拡大に向け他社との業務連携を検討中</li> </ul>
----------	--



はしご車

### (3) セグメント別進捗 不動産事業

#### ■ 数値計画

(金額単位：百万円)

	2016	2017	2021	進捗率
	実績	予想	中計	
売上高	10,188	10,300	10,800	95%
営業利益	3,176	3,400	4,000	85%
営業利益率	31.2%	33.0%	37.0%	-
減価償却費	2,086	1,890	8,500 (5年間)	



コクーンシティ「コクーン2」  
(2015年4月開業)

#### ■ 具体的な戦略と進捗

##### <さいたま新都心まちづくり>

具体的な戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 第三期開発への着手</li> <li>➢ まちづくり視点でのビジネスの拡充</li> </ul>
--------	---

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第三期開発                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・さいたま新都心エリア全体を対象に開発計画を検討中</li> </ul> </li> <li>■ エリア価値向上に向けた取り組み                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「さいたま新都心まちづくり推進協議会」を中心に周辺事業者と連携して検討中</li> </ul> </li> </ul>
------	--

##### <新規取得開発>

具体的な戦略	➢ 新規取得開発の実施
--------	-------------

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 首都圏（さいたま新都心含む）での商業系開発（SC等）を中心に、業務系開発（オフィス等）を視野に入れ物件探索中</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px; text-align: center;"> <p><b>新規取得投資：100億円</b> (2017~2021年)</p> </div>
------	---

### (3) セグメント別進捗 不動産事業

#### ■ さいたま新都心駅前社有地

社有地全体：147,000㎡（公道等除く）



a.コクーン1 b.コクーン2 c.コクーン3 d.パークサイドビル e.レクサスさいたま新都心 f.フォルクスワーゲンさいたま新都心 g.コクーンアスレックス  
h.ガーデンヒルズ迎賓館 i.さいたま新都心 コクーンシティ住宅展示場 j.オフィスビル k.ニチイホーム アイリスガーデン l.デイリーヤマザキ

### (3) セグメント別進捗 不動産事業【トピックス】

#### ヨガスタジオ&ボルダリングジム 9月開業に向け会員募集中

さいたま新都心エリアでの新事業分野



※画像はイメージです

- ・埼玉県初のインドア&アウトドアのハイブリット型スポーツクラブ
- ・ヨガ、ボルダリング、ラン&ウォーク、カフェ等のサービス提供

#### ■施設概要

- ・収益形態：利用料収入
- ・施設名称：cocoon athletics (コクーンアスレチックス)
- ・運営者：(株)BEACH TOWN、事業主体：当社

#### 住宅型有料老人ホーム7月開業

介護福祉・健康分野



- ・東京都三鷹市の社宅跡地（約2,670㎡）を開発

#### ■施設概要

- ・収益形態：建物賃貸（全52室）
- ・施設名称：グランダ井の頭公園
- ・運営者：(株)ベネッセスタイルケア

### (3) セグメント別進捗 新規事業

#### ■ 数値計画

(金額単位：百万円)

	2016	2017	2021	進捗率
	実績	予想	中計	
売上高	124	200	2,000	10%
営業利益	▲ 484	▲ 300	100	-
営業利益率	-	-	5.0%	-

#### ■ 具体的な戦略と進捗

<p>具体的な戦略</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 介護サービスの業容拡大と介護福祉機器の開発・拡販</li> <li>➢ 美容分野の商品ラインナップの拡充と健康食品分野への参入</li> <li>➢ 植物工場による高付加価値野菜の開発・拡販と量産体制の構築</li> </ul>
<p>進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 早期収益化に向けた取り組み</li> <li>■ 事業規模拡大に向けた取り組み                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いい安座新モデル発売</li> <li>・ 商品ラインナップ拡充、販路拡大へ取り組み</li> </ul> </li> </ul>

#### 介護福祉・健康分野



デイサービス  
都内2施設



オストメイト  
対応型便座販売



「絹蜜」化粧品

洗顔石鹸  
クレンジングオイル  
化粧水  
オールインワンジェル

#### アグリ・環境分野



低カリウムレタス



はなびらたけ  
「花華(はなか)」

## 前広便座「いい安座」新モデル発売（7/5）、大手ドラッグチェーン様で全店舗導入決定



ウエルシア薬局日本橋1号店／B.B.ON日本橋店

### ■ 2015年11月の発売後、導入が進む

#### 【導入施設一部例（2017年6月現在）】

- ＜病 院＞
  - ・東京大学医学部附属病院（東京都）
  - ・戸塚共立第2病院（神奈川県）
  - ・日高病院（群馬県）
- ＜公 園＞
  - ・松戸市ゆいのはな公園（千葉県）
- ＜商業施設＞
  - ・コクーンシティ（埼玉県、運営：当社）
  - ・アトレ 大森店（東京都、運営：(株)アトレ）
  - ・トレードピアお台場（東京都、運営：いちご）
  - ・松戸市南部市場（千葉県、運営：いちご）
  - ・宮交シティ（宮崎県、運営：いちご）

### ■ 製品特徴



### 【環境・社会】

### コクーンシティで市民活動団体や行政等と共催の 「さいたま打ち水大作戦2017」を開催

参加無料

# さいたま 打ち水大作戦

夏の風物詩「打ち水」をつなが竜スッやコバトン、さいたまっち、アルディと一緒に楽しもう！  
水資源の大切さを学べる展示や体験ブースをご用意！  
※打ち水は雨水再生水を使用します。

日時 **7/29(土)**

- 展示体験ブース 11:00～16:00
- 打ち水タイム 15:00～
- 子どもおしゃべり 15:30～
- 雨天開催 7/30(日)

会場 コクーン2 コクーンひろば



コクーンひろばで打ち水



イベントへは約300名が参加

## 4. 株主還元について

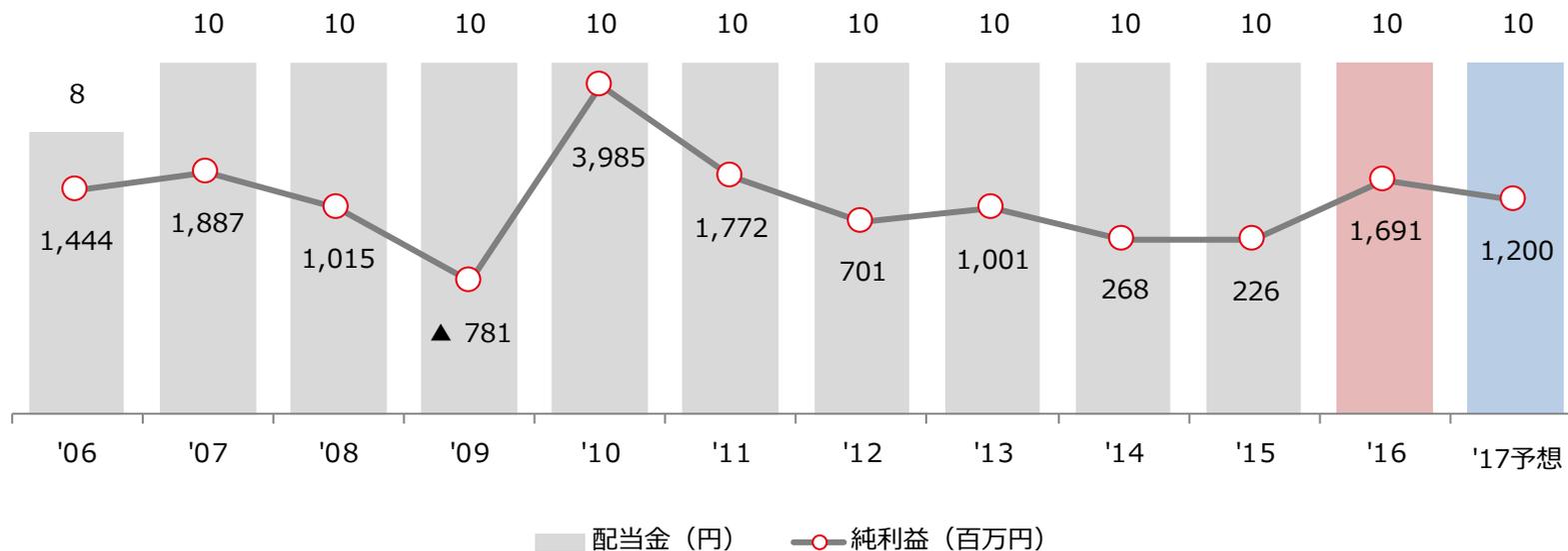
## <利益配分の方針>

業績や今後の事業展開、内部留保の水準等を総合的に勘案し、株主へ継続的に安定した配当を実施することを基本としております。

1株あたり配当金	2016年12月期実績
普通配当	10円00銭

1株あたり配当金	2017年12月期予想
普通配当	10円00銭

## <配当金と純利益の推移>



## 参考資料

# 《参考資料①》カタクラグループの多角化起源

創業 1873年 (明治6年)

設立 1920年 (大正9年)

カイト  
垣外製糸場



生糸



富岡製糸場の保有  
1939~2005年  
(66年間)



生糸製造

生糸製造の伝統を受け継ぐ

## 繊維事業

### 衣料品事業部

肌着、靴下の製造・販売

### オグランジャパン(株)

カジュアルインナーの製造・販売

### カフラス(株)

補整下着の製造・販売

### (株)ニチビ

水溶性繊維、耐熱性繊維の製造・販売



蚕糸関連研究

優良蚕品種研究を活かす

## 医薬品事業

### トーアエイヨー(株)

医療用医薬品の製造・販売

## その他

### 生物科学研究所

訪花昆虫の販売等



繰糸機製造

自社開発の製造ノウハウを活かす

## 機械関連事業

### 機械電子事業部

自動車部品の製造・販売  
石油製品等の輸入販売

### 日本機械工業(株)

消防自動車の製造・販売

### 片倉機器工業(株)

農業用機械の製造・販売



製糸工場

跡地を有効利用する

## 不動産事業

### 商業施設事業部

ショッピングセンターの運営  
不動産賃貸

### 不動産開発部

社有地の開発・活用

## その他

### 小売事業部

小売業の運営

### (株)片倉キャロンサービス

ビル管理サービス

# 《参考資料②》カタクラグループの事業構成

## 繊維事業

Katakura Silk

介護肌着

ライセンス製品

補整下着

アルミナ長繊維  
(耐熱性繊維)



衣料品事業部

オグランジャパン(株)

カフラス(株)

(株)ニチビ

消防自動車



## 医薬品事業



トーアエイヨー(株)

## 機械関連事業

三岐弁

振動ハブリング  
洗浄器



機械電子事業部

二輪管理機



片倉機器工業(株)

はしご車



日本機械工業(株)

## 不動産事業

東京スクエアガーデン

コクーンシティ



商業施設事業部

不動産開発部

## その他

ニューライフ  
カタクラ

マルベリー  
ガーデン



小売事業部

交配専用みつばち商品



生物科学研究所

ビルの清掃等



(株)片倉キャロンサービス

## <ご案内>

本資料中の業績見通し等についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。その実現・達成を保証または約束するものではありません。また今後、予告なしに変更されることがあります。

本資料に含まれる情報の掲載にあたりましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りに関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

## <お問い合わせ先>

片倉工業株式会社

住所：〒104-8312 東京都中央区明石町6番4号

企画部 広報・IR室 室長 森 英明 / 菊地 信行

Tel : 03-6832-0223

Fax : 03-6832-0282

世界遺産登録「富岡製糸場」



特集WEBページ「片倉工業と富岡製糸場が歩んだ歴史」

<http://www.katakura.co.jp/tomioka.htm>